

質問回答

2016年6月13日

「(案件名)ウクライナ国国営銀行部門改革にかかる情報収集・確認調査」

(公示日:2016年6月1日/公示番号:160355)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書中、 プロポーザル評価表	「(1)業務主任者の経験・能力/業務管理グループの評価」について、業務管理グループの個別の配点を合計すると34.00点となり、33.00点とは差がありますが、どちらが正しいのでしょうか。	配点表に誤りがありました。失礼しました。添付の通り修正致します。
2	コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン(2013年11月版)中、 様式-5(その1)	添付する業務従事予定者の写真は、白黒でも良いのでしょうか。	白黒でも差し支えありません。
3	5.実施方針及び留意事項 (2)デューデリジェンスの概要 対象銀行3行各行につき、…上位50社について資産査定を行ったうえで、債権分類の自己査定の	具体的な作業内容は、以下のいずれでしょうか？なお、以下のどちらにも当たらない場合、本項におけるデューデリジェンスの具体的な作業内容をご教示いただけますでしょうか？ 1. 合計150社について、全ローン債権の価値(金額)を算定し、各行の自己査定金額との差がある場合に、その要因分析を行う。 2. 合計150社について、主要なローン債権の価値(金額)を算定し、各行の自己査定金額との差があ	4.に該当し、なお要因分析にあたって必要な場合には債務者(企業)の経営者層と面談を実施する、としてください。

	適正性を検証する。 及び、 6. 業務の内容	る場合に、その要因分析を行う。 3. 合計 150 社について、全ローン債権に関する各行の価値算定方法を確認し、ウクライナ基準およびIFRSにおける算定方法との相違点を確認、その要因分析を行う。 4. 合計 150 社について、主要なローン債権に関する各行の価値算定方法を確認し、ウクライナ基準およびIFRSにおける算定方法との相違点を確認、その要因分析を行う。 なお、1～4のいずれも要因分析にあたって必要な場合には債務者(企業)の経営者層と面談を実施する。	
4	6. 業務の内容 …に基づき、各行とワークアウトに向けた協議を行う。… 各国有銀行のワークアウトに向けた再生計画・経営計画の大枠をまとめたレポートを作成し、…	3行とのワークアウトの協議ならびに再生計画・経営計画の大枠をまとめたレポート作成の対象は、不良債権(ローン債権)の処理に限定されるとの理解でよろしいでしょうか？	不良債権の処理が中心となるが限定されない、ということをお願いします。
5			

以上

プロポーザル評価表
ウクライナ国営銀行部門改革にかかる情報収集・確認調査

160355



評価項目	配点						
1. コンサルタント等の法人としての経験・能力	(10.00)	()	()	()	()	()	()
(1) 類似業務の経験	6.00						
(2) 業務実施上のバックアップ体制等	4.00						
2. 業務の実施方針等	(30.00)	()	()	()	()	()	()
(1) 業務実施の基本方針の的確性	14.00						
(2) 業務実施の方法の具体性、現実性等	14.00						
(3) 要員計画等の妥当性	2.00						
(4) その他（実施設計・施工監理体制）							
3. 業務従事予定者の経験・能力	(60.00)	()	()	()	()	()	()
(1) 業務主任者の経験・能力/ 業務管理グループの評価	(33.00)	()	()	()	()	()	()
		業務主任者 のみ	業務管理 グループ	業務主任者 のみ	業務管理 グループ	業務主任者 のみ	業務管理 グループ
①業務主任者の経験・能力 総括/金融機関調査2	(33.00)	(13.00)	()	()	()	()	()
ア) 類似業務の経験: 銀行の監督、検査・考査、自己 査定、決算等に係る各種業	13.00	5.00					
イ) 対象国又は同類似地域での業務経験	3.00	1.00					
ウ) 語学力	6.00	2.00					
エ) 業務主任者等としての経験	6.00	3.00					
オ) その他学位、資格等	5.00	2.00					
②副業務主任者	—	(13.00)	—	()	—	()	—
カ) 類似業務の経験:	—	5.00	—		—		—
キ) 対象国又は同類似地域での業務経験	—	1.00	—		—		—
ク) 語学力	—	2.00	—		—		—
ケ) 業務主任者等としての経験	—	3.00	—		—		—
コ) その他学位、資格等	—	2.00	—		—		—
③体制、プレゼンテーション	()	(7.00)	()	()	()	()	()
サ) 業務主任者等によるプレゼンテーション							
シ) 業務管理体制	—	7.00	—		—		—
(2) 業務従事者の経験・能力: 金融機関調査1	(27.00)		()	()	()	()	()
		語学有・経験有					
ア) 類似業務の経験: 銀行の監督、検査・考査、自己 査定、決算等に係る各種業	13.00						
イ) 対象国又は同類似地域での業務経験	3.00						
ウ) 語学力	6.00						
エ) その他学位、資格等	5.00						
(3) 業務従事者の経験・能力:	()	()	()	()	()	()	()
ア) 類似業務の経験:							
イ) 対象国又は同類似地域での業務経験							
ウ) 語学力							
エ) その他学位、資格等							
総合評点	[100.00]	[]	[]	[]	[]	[]	[]

- 1) 類似調査プロジェクトの経験：銀行の監督、検査・考査、自己査定、決算等に係る各種業務
 2) 対象国：ウクライナ 国及びその他 全世界地域
 3) 語学力：英語

(注) 語学力として英語と他の外国語の両方を評価する場合

例えば、語学力の評価配点を20点とし、英語：他の外国語の評価割合を1：2とする場合、英語を6.5点満点、他の外国語を13.5点満点で評価し、加えた点を評価点とする。